

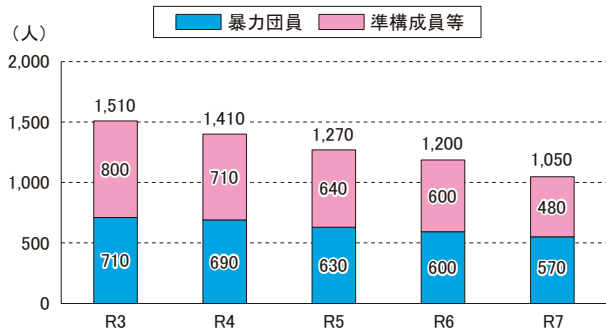
11 犯罪組織の壊滅

1 暴力団対策

暴力団は、特殊詐欺をはじめ、多種多様な資金獲得活動を行っていることから、県警察では、社会経済情勢の変化にも留意しつつ、暴力団犯罪の取締り、暴力団対策法の効果的運用及び暴力団排除活動を推進しています。

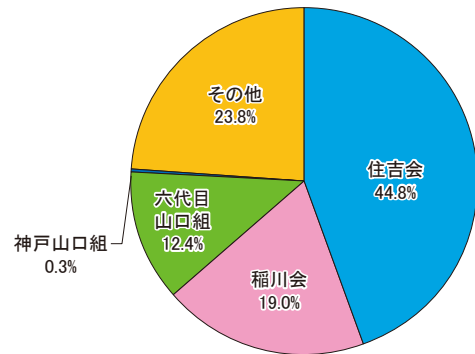
(1) 暴力団情勢(概数)

暴力団勢力の推移



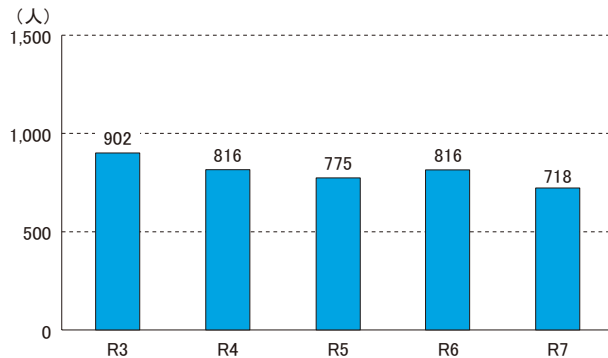
※ 暴力団勢力数は概数で示しており、合計数は一致しないことがある。

県内暴力団勢力の組織別構成比(令和7年末現在)

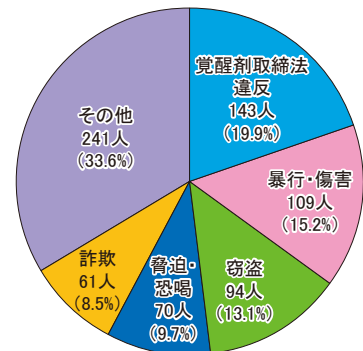


(2) 暴力団犯罪の取締り

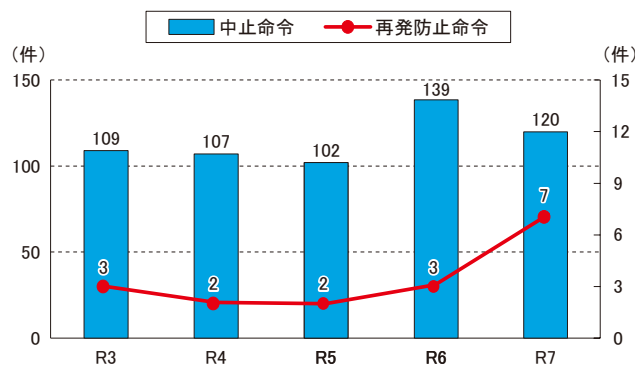
暴力団員等の検挙人員の推移



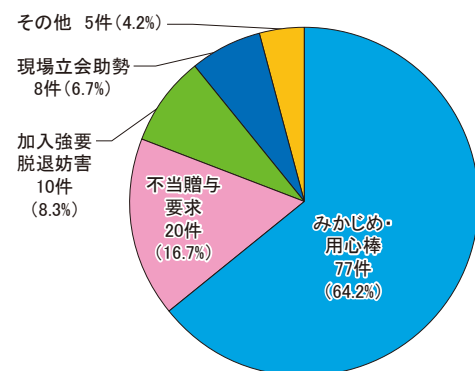
罪種別検挙人員比(令和7年中)



中止命令等の発出状況の推移



違反形態別中止命令発出状況(令和7年中)



《令和7年中の主な検挙》

- 住吉会傘下組織組長らによる殺人事件 (組織犯罪対策第一課、大宮署)
- 住吉会傘下組織幹部、六代目山口組傘下組織組員らによる偽物金リング売却詐欺事件 (組織犯罪対策第一課、川口署)
- 住吉会傘下組織組長らによる傷害致死事件 (組織犯罪対策第一課、草加署)

(3) 匿名・流動型犯罪グループ対策

近年、秘匿性の高い通信手段を用いることによりグループの中核部分が匿名化され、実行犯をその都度SNSで募集し流動化するなどの特徴を有する「匿名・流動型犯罪グループ」が、特殊詐欺等の資金獲得犯罪に関与するなど、治安対策上の脅威となっていることから、県警察では、部門間の連携を強化し、実態解明、あらゆる法令を駆使した取締り等の対策を推進しています。

(4) 暴力団排除対策

企業や行政機関等を対象とした暴力団排除講習、暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者講習、暴力団排除組織設立への支援のほか、公益財団法人埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター、埼玉弁護士会民事介入暴力対策委員会等の関係機関と連携した各種啓発活動を行うなど暴力団排除活動を推進しています。

不当要求防止責任者講習



暴力団排除キャンペーン



暴力追放・薬物乱用防止埼玉県民大会



青少年向けリーフレット



(5) 保護対策

暴力団等による犯罪等の被害者、暴力団からの脱退希望者、暴力団排除活動に取り組んでいる地域住民の方々等の安全確保に組織を挙げて対応しています。

身辺警戒員訓練の実施状況



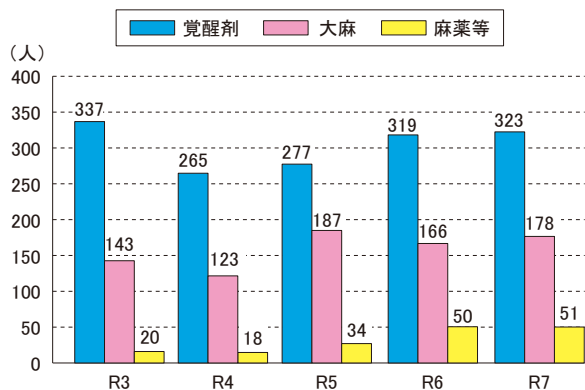
2 薬物・銃器対策

(1) 薬物事犯の取締り

覚醒剤事犯の検挙人員は、ここ数年増加傾向にあり、大麻事犯の検挙人員は20歳代以下の若年層を中心に高水準で推移しています。

薬物事犯は治安の根幹に関わる重大な課題であり、薬物の密輸・密売組織の摘発、大麻栽培施設の摘発等の供給源の根絶と薬物乱用者の徹底検挙を図るとともに、薬物乱用の根絶に向けた広報啓発活動や薬物乱用防止教育を推進しています。

薬物別検挙人員の推移



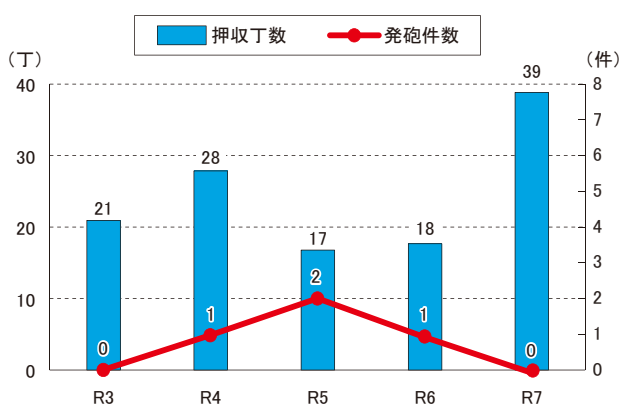
日本国内に密輸された液状大麻



(2) 銃器事犯の取締り

暴力団が組織的に管理する拳銃の摘発のほか、拳銃の密輸、密売及び密造の摘発を重点とした取締りや銃器犯罪根絶のための広報啓発活動を推進しています。

発砲件数・拳銃押収状況の推移



押収した拳銃



《令和7年中の主な検挙》

- 玩具と称した真正拳銃密輸入事件(回転弾倉式玩具拳銃1丁を押収)
(組織犯罪対策第一課、鴻巣署)
- ベトナム人による営利目的液状大麻密輸入事件(液状大麻約5,000グラム、末端価格約2,500万円を押収)
(組織犯罪対策第一課、浦和西署)

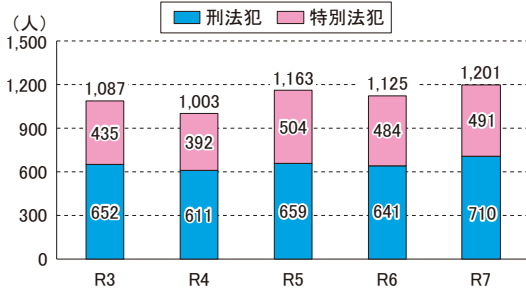
3 国際犯罪組織対策

(1) 外国人犯罪の取締り

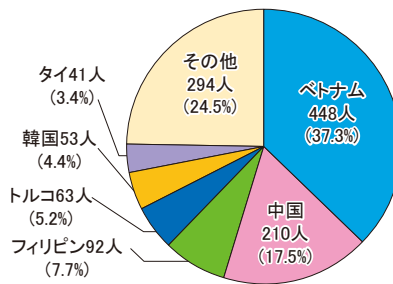
外国人犯罪の検挙人員は、過去5年の数値をみると、1,000人を超える水準で推移しています。国籍別では、ベトナムと中国で全体の約6割を占め、刑法犯の罪種別では窃盗犯が全体の約4割、特別法犯の罪種別では入管法違反が全体の約7割を占めています。

外国人犯罪に対しては、不良外国人グループによる組織的詐欺等事件、身の代金目的略取・監禁等事件、在留カード偽造事件、不法就労事件等の取締りを推進するとともに、犯罪行為を支援している人的又は資金的なネットワーク等の犯罪インフラの取締りを強化しています。

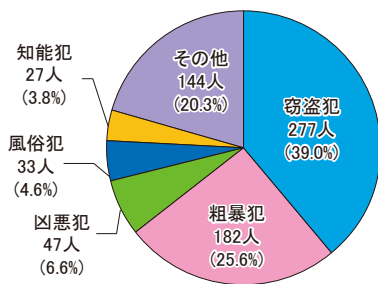
外国人検挙人員の推移



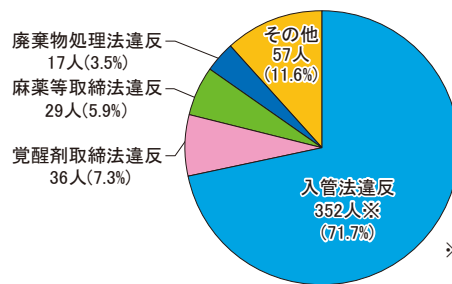
国籍別外国人検挙人員(令和7年中)



罪種別刑法犯検挙人員(令和7年中)



罪種別特別法犯検挙人員(令和7年中)



※出入国在留管理庁への引渡しは含まない。

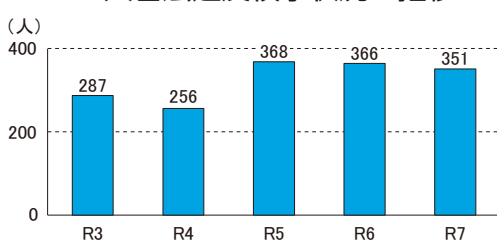
《令和7年中の主な検挙》

- ベトナム人らによるSNS型ロマンス詐欺等事件 (組織犯罪対策第二課、組織犯罪対策第三課、羽生署、上尾署)
- ベトナム人同士による殺人未遂事件 (捜査第一課、組織犯罪対策第二課、越谷署)
- 中国人らによる電子計算機使用詐欺事件 (組織犯罪対策第二課、サイバー捜査課、川口署)
- ベトナム人による出入国管理及び難民認定法違反事件 (組織犯罪対策第二課、川口署)

(2) 不法滞在者対策

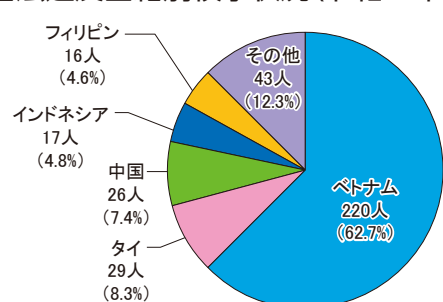
令和7年中、来日外国人に係る入管法違反検挙人員は351人で、令和5年以降ほぼ横ばいで推移しています。県警察では、今後も関係機関・団体と連携を図りながら、不法滞在者の摘発を推進するとともに、不法就労や在留カード偽変造関連事犯等の不法滞在を助長する犯罪の取締りを強化します。

入管法違反検挙状況の推移



(注) 数値は来日外国人の送致及び出入国在留管理庁への引き渡しを含む

入管法違反国籍別検挙状況(令和7年中)

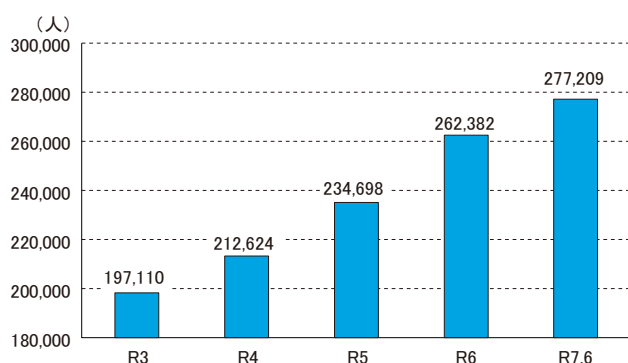


(3) 在留外国人の安全の確保に向けた総合対策

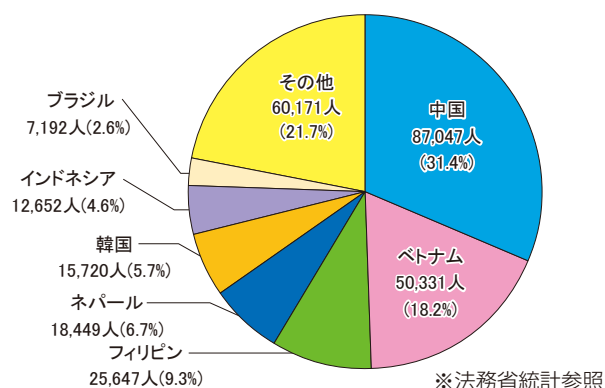
埼玉県における在留外国人の人口は、27万7,209人(令和7年6月末・法務省統計)で、全国で5番目に多く、今後、在留外国人人口は一層増加していくことが予想されます。

県警察では、外国人コミュニティを中心として、関係行政機関、住民団体、企業等と協調しながら、在留外国人の実態を踏まえた各種警察活動を的確に行うことにより、在留外国人に係る犯罪被害の防止、外国人コミュニティへの犯罪組織等の浸透の防止を図るための在留外国人の安全の確保に向けた総合対策を推進しています。

在留外国人人口の推移(埼玉県)



在留外国人人口の国籍別割合(埼玉県)



防犯講話実施状況



防犯パトロール実施状況



コラム

インターネットを通じた在留外国人の犯罪被害防止 《Facebookにおける広報啓発活動》

県警察では、SNSに起因する在留外国人の犯罪被害防止のための取組として、在留外国人の方が巻き込まれやすい犯罪の予防情報の発信やインターネットの掲示板に氾濫する犯罪関連情報に対する警告活動を実施しています。

公式アカウント <http://www.facebook.com/spsotainika>



さいたまけん けいさつ
埼玉県警察
SAITAMA prefectural police

がいこくじん む
外国人向け
Facebook

外国人のみならず安全に生活していただくための情報や日本の法律(ルール)などをお知らせします。

<http://www.facebook.com/spsotainika>

URL・QRコードからFacebookへ、犯罪の予防情報を知ろう。

Facebook